

評価結果



1-1 建物概要

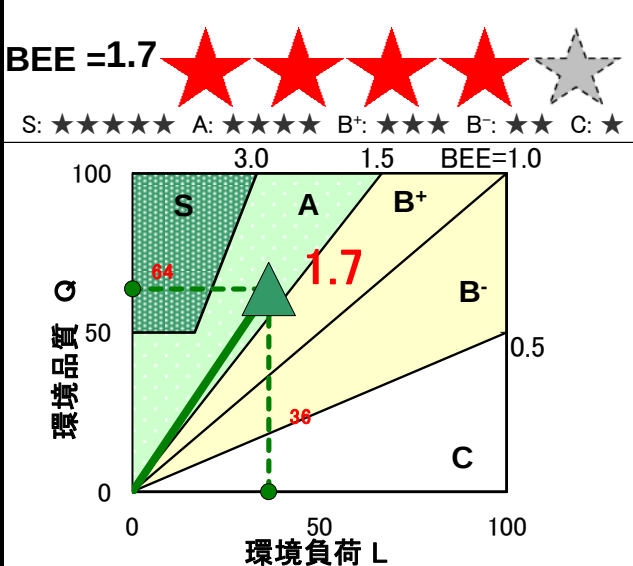
建物名称	(仮称)広島市東区牛田旭一丁目計画
建設地	広島県広島市東区牛田旭1丁目143番地
用途地域	近隣商業地域、準防火地域
気候区分	6地域
建物用途	集合住宅
竣工年	2018年3月 予定
敷地面積	834 m ²
建築面積	300 m ²
延床面積	2,932 m ²

階数	地上12F
構造	RC造
平均居住人員	119 人
年間使用時間	8,760 時間/年
評価の段階	実施設計段階評価
評価の実施日	2016年7月1日
作成者	(有)Jib建築設計工舎 多森治
確認日	2016年7月1日
確認者	(有)Jib建築設計工舎 多森治

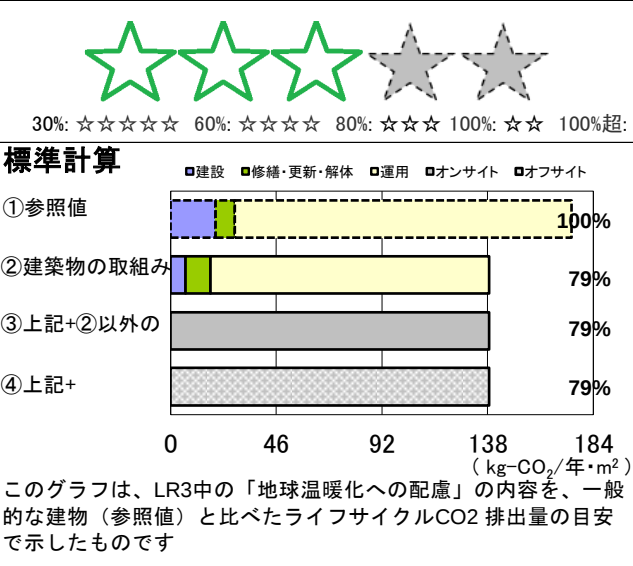
1-2 外観



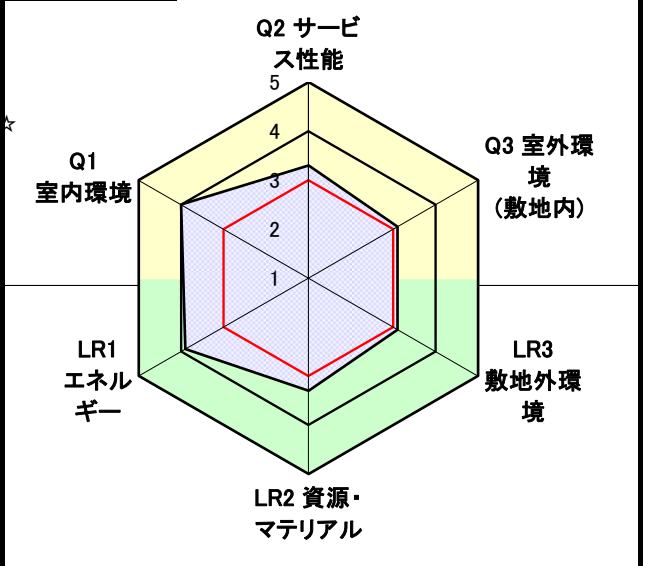
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



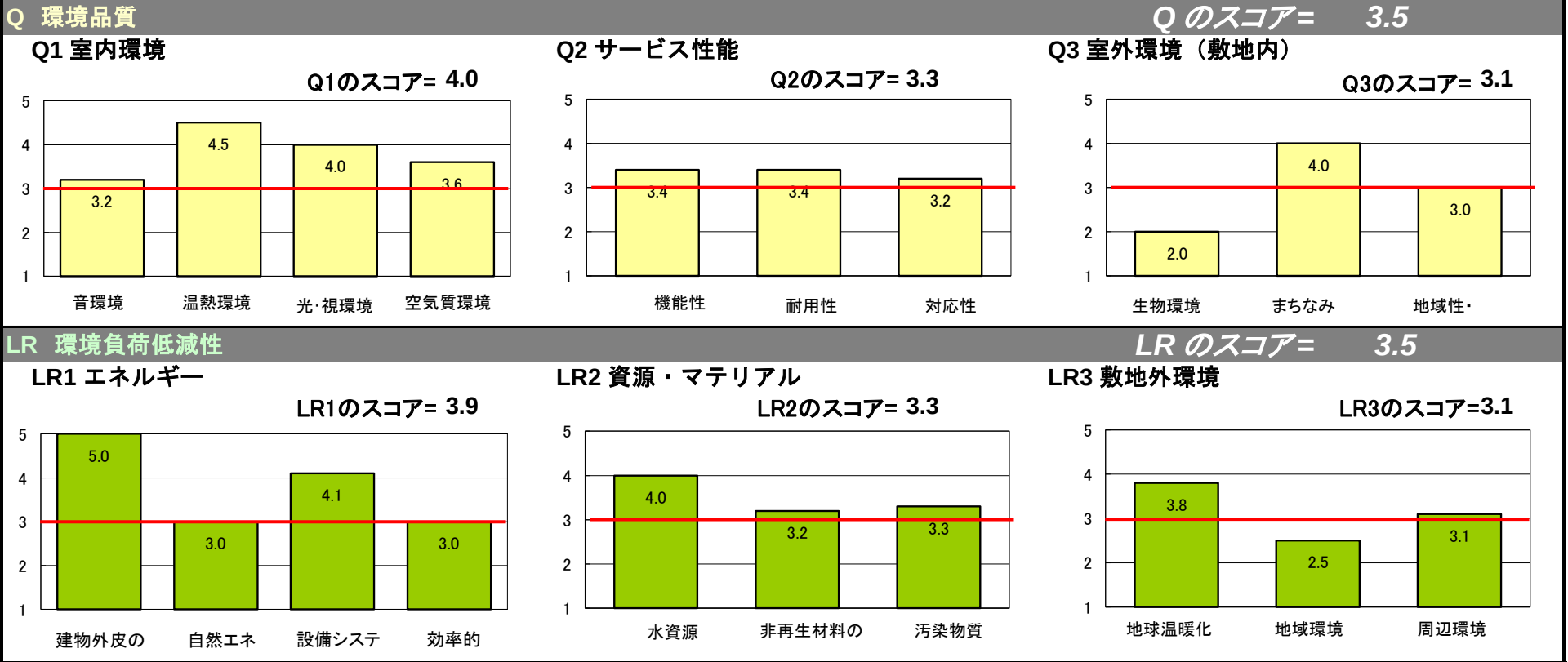
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア= 3.4		
「地球温暖化対策」の推進 スコア= 3.9	「ヒートアイランド対策」の推進 スコア= 2.1	「長寿命化対策」の推進 スコア= 3.2
設計の計画に特段に配慮した事項 住戸開口部に複層ガラスを採用。/ 住宅性能評価「5-1断熱等性能等級」等級4 / LED等の高効率機器の採用。/ / 節水タイプ水栓の採用。リサイクル材の使用。躯体と仕上材が容易に分別可能。/ 可能な限りCO ₂ の排出を削減。	設計の計画に特段に配慮した事項 / 駐車、駐輪スペースの確保。	設計の計画に特段に配慮した事項 外壁に磁器質タイルを使用。 住宅性能評価劣化対策等級3を確保。/

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される